

山形県福田工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

福田工業用水道事業の給水区域は、山形県の北東部（最上地区）に位置する新庄市内の新庄中核工業団地である。

新庄中核工業団地は、新庄市を中心とする最上地域の開発のため、県が地域振興整備公団に要請し、昭和56年から造成された工業団地である。

当事業は、工業用地分譲面積115haのうち、当初分譲の27haの工業団地に工業用水を確保することを目的として開始された。

○事業の経緯

福田工業用水道事業は、昭和59年4月に着工され、約6年間の建設工事期間を経て平成元年10月に給水を開始した。

計画の段階から、事業の収支が厳しい見込みであったため、初期投資を極力抑制した。そのため、遠方監視制御装置は設置せず、設備の監視は、最低限の故障情報だけを警備保障会社経由で伝達するようにしている。また、改良工事についても必要最小限の小規模なものにとどめている。

今後も厳しい経営状況が続くことが予想されるため、新規受水企業の獲得など、経営改善に努めていく。

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
電子	1	110
金属	1	500
運輸	1	50
その他	2	183
合計	5	843

○工業用水道施設の概要

・取水設備

地域振興整備公団が何カ所か試掘した工業団地内の井戸のうち、7号井戸を水源とし、取水ポンプにより取水している。水質が安定しているため浄水処理は行わず、直接配水池まで導水している。

取水ポンプ場から配水池までの導水管は、φ100～350のダクタイル鋳鉄管であるが、井戸の能力低下や給水量の増加に対応するため、他の井戸まで導水管を布設し、その総延長は約1.7kmである。

・配水設備

工業団地北西部の高台に配置した配水池より自然流下にて、各受水企業に配水している。

配水管は、φ75～350のダクタイル鋳鉄管で、延長は約3.1kmである。

○山形県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kigyo/>

○福田工業用水道 事業概要図

